

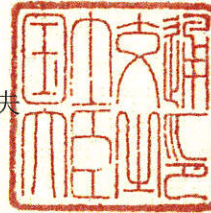
認定書

国住参建第87号

令和6年4月19日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1273
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付金属管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん
／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付金属管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表 1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ 240mm以下)
	面積	0.0453m ² 以下
占積率 (開口面積に対する被覆付配管の断面積の総 合計の割合)		85.8%以下
被覆材付配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		8～20mm
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分) 厚さ 75mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
熱膨張性シート	材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート	
	寸法	総厚さ：6.0mm以上 幅：105mm以上(35mm以上埋没)(表面材露出部除く)	
	使用箇所	ケーブル・配管の両側に一周以上巻き付け (突合わせ又はオーバーラップ)	
	表面材 (充てん材側)	材料	①～③のー ①ポリオレフィン系樹脂繊維強化アルミニウム系テープ ②ガラス繊維強化アルミニウム系テープ ③アルミニウム系テープ
		寸法	厚さ：0.4mm以下 幅：135(±10)mm以上 (露出部30(±10)mm以上：粘着剤あり)
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴム
		寸法	厚さ：6.0mm以上 幅：105mm以上
		密度	
		組成 (質量%)	
	裏面材 (配管側)	材料	仕様：あり又はなし ①～④のー ①ポリオレフィン系フィルム ②ポリオレフィン系-ポリエステル系積層フィルム ③ポリエステル系フィルム ④ナイロン系フィルム
		厚さ	0.05mm以下
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系	
	充てん量	隙間に密に充てん (壁の両側に22mm以上)	

表3 配管の仕様

項目	仕様				
配管 (給水管・排水管)	銅管 (JIS H 3300、JIS H 3320)	外径	φ 66.68mm 以下	厚さ	2.03mm以下
	鋼管 (JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、 JIS G 3455、JIS G 3456、JIS G 3458、 JIS G 3460)				7.1mm以下
	ステンレス鋼管 (JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459)				7.1mm以下
被覆材 (あり又はなし)	ニトリルゴム系	φ 200mm 以下 (仕上がり外径)	φ 196mm 以下 (仕上がり外径)	厚さ	65mm以下
	グラスウール (JIS A 9504)				
	ロックウール (JIS A 9504)				
	エチレンプロピレンゴム系				63mm以下

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
留付材 (粘着テープ)	材料	仕様：あり又はなし ①～⑧の一 ①ポリプロピレン粘着テープ ②ポリエチレン粘着テープ ③ポリ塩化ビニル粘着テープ ④ポリエステル粘着テープ ⑤セロハン粘着テープ ⑥紙粘着テープ ⑦布粘着テープ ⑧アルミニウムテープ
	寸法	厚さ：0.4mm以下 幅：50mm以下
	使用箇所	必要に応じて、熱膨張性シートの固定用に使用

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1～図3に示す。

単位 mm

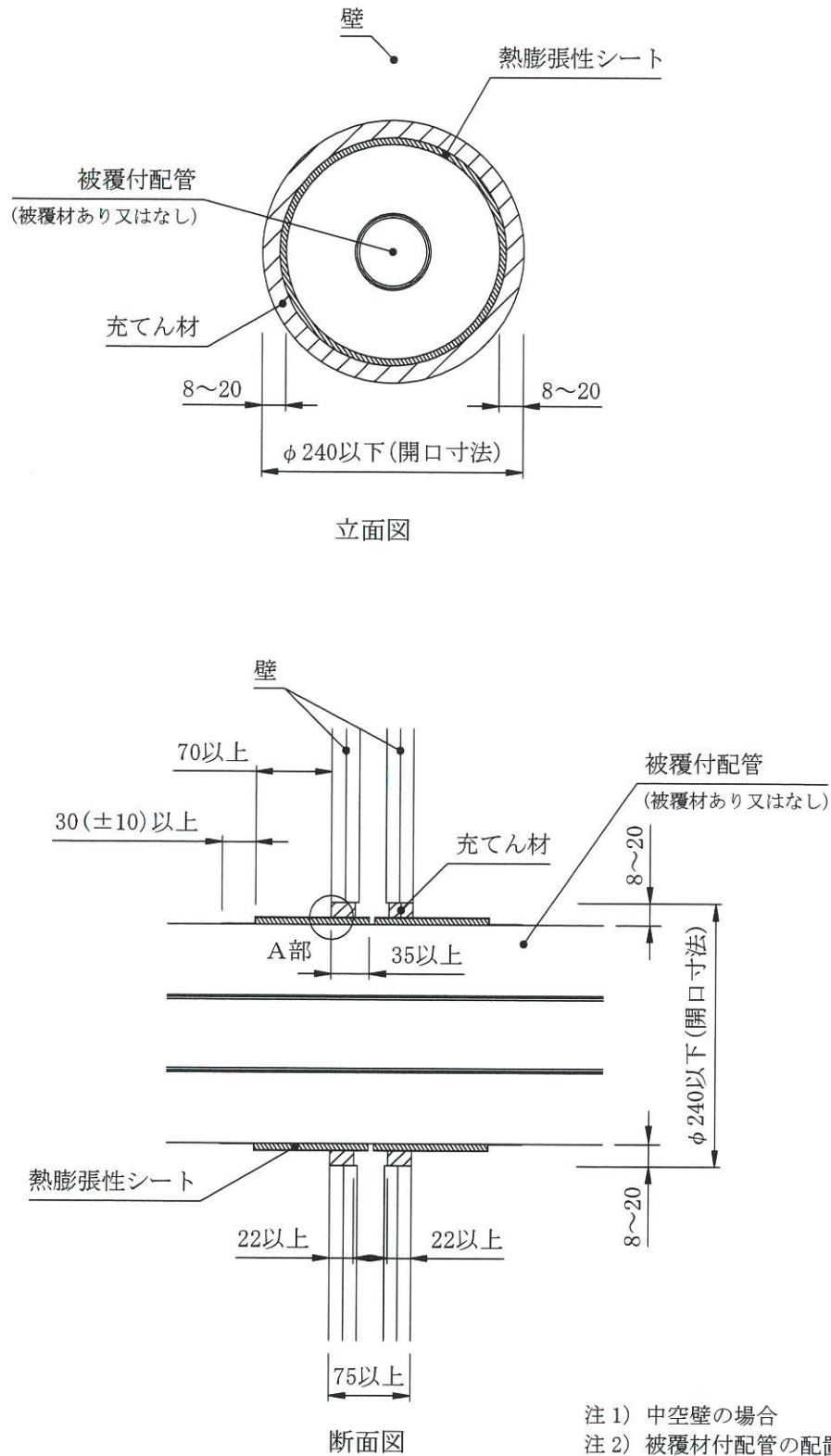
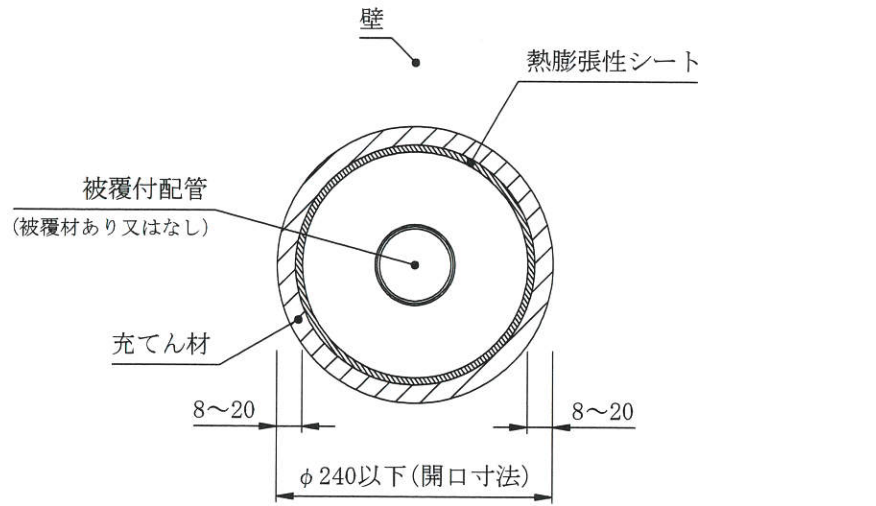
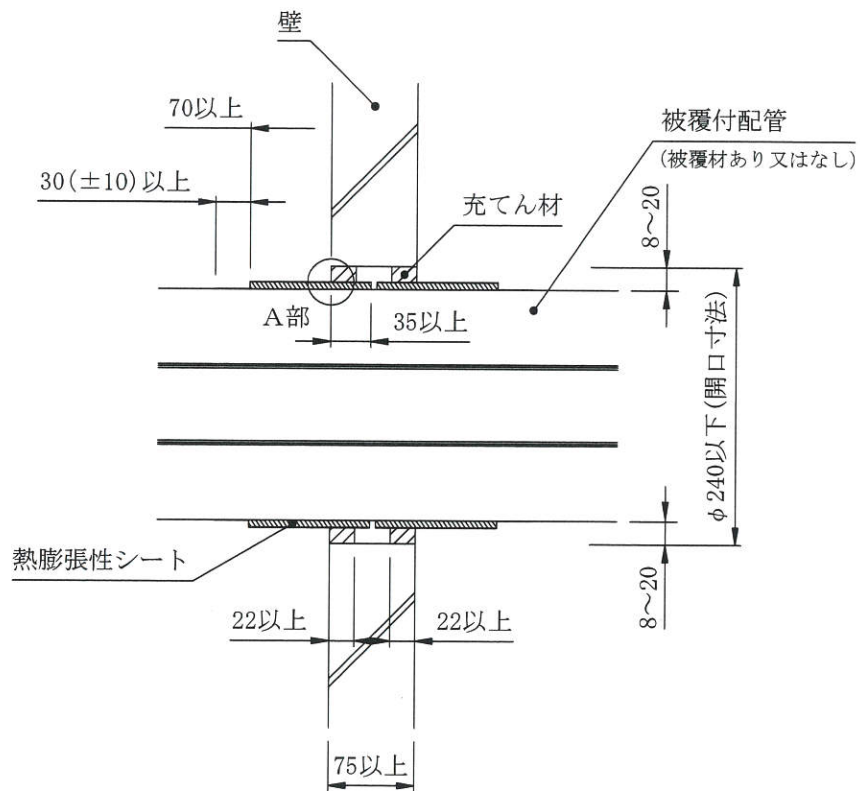


図1 構造説明図(施工図)



立面図

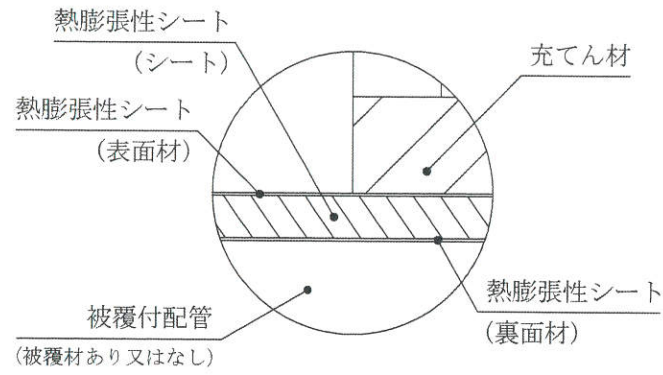


断面図

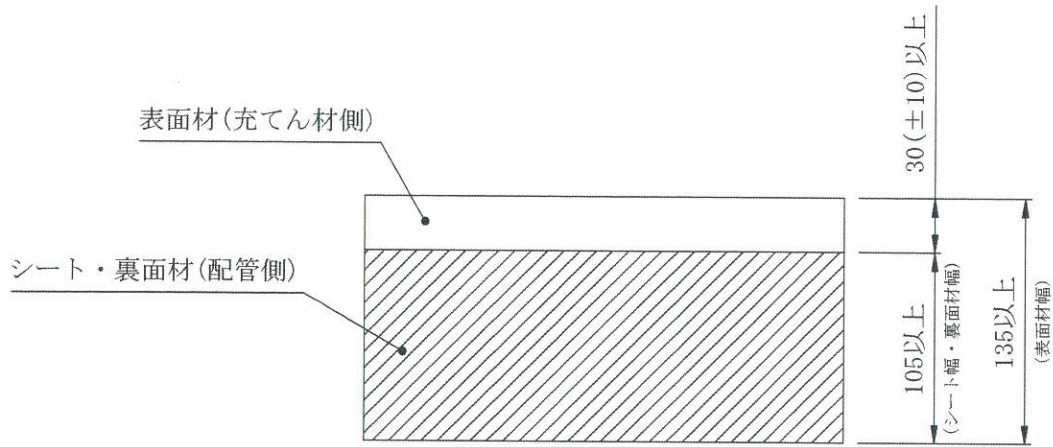
- 注1) 中空壁以外の場合
注2) 被覆材付配管の配置は、一例を示す

図2 構造説明図(施工図)

単位 mm



A部詳細図



熱膨張性シート詳細図

図3 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定
ボイド管やコアドリル等を用いて、 $\phi 240\text{mm}$ 以下の貫通穴を設ける。
- (2) 配管の設置
配管を設置して支持・固定する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け
配管に対して、熱膨張性シートを両側一周以上巻き付け(突合わせ又はオーバーラップ)、必要に応じて、粘着テープで熱膨張材性シートを固定する。熱膨張性シートは、粘着テープを用いて、つなぎ合わせても良い。
- (4) 熱膨張性シートの設置
熱膨張性シートを 35mm 以上埋め戻すようにスライドさせる。
- (5) 熱膨張性シートの貼付け
熱膨張性シート端部の表面材に付いている剥離紙を剥がし、粘着面をケーブル・配管へ密に貼り付ける。なお、露出部 30(± 10)mm 以上(粘着剤あり)とすること。
- (6) 充てん材の埋め戻し
配管と躯体の開口部の隙間に、充てん材を壁厚方向 22mm 以上密に充てんする。